付紙様式第２

事　業　評　価　書

補助事業名	東富士演習場関連公共用施設（教育文化施設：裾野市民文化センター改修）整備事業
補助事業者名	裾野市長
実施場所	裾野市石脇583
補助事業の成果の目標	市民文化センターは、平成3年の供用開始以来、各種公演や市民の発表会、各種イベントなどに使用され、市の中核的教育文化施設の役割を担っている。 しかし当施設は建築後約29年が経過し、各種設備の劣化等が見受けられ、舞台照明やエレベーターなど、大規模改修の必要がある。 市民文化センター改修基金事業のうち、令和元年度はホール棟トイレを洋式化することにより、施設の機能を維持・向上し、引き続き地元住民が快適に当施設を利用できることを目標とする。
補助事業の内容	和式便器の洋式化、洗浄暖房便座設置 大ホール18か所、多目的ホール7か所、楽屋3か所、計28箇所 既存洋式便器に洗浄暖房便座設置　10か所 ブース交換　38か所
補助事業の始期及び終期	平成27年度から令和4年度まで

事業費及び交付金額

		27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	計
		円	円	円	円	円	円
事業費		0	0	0	29,106,000	30,056,400	59,162,400
基金造成額	交付金	65,250,000	65,250,000	65,250,000	65,550,000	0	
	市町村費等						
	その他						
	運用益		130,500	130,630	98,542	180,251	
	計	65,250,000	65,380,500	65,380,630	65,648,542	180,251	261,839,923
基金処分額		0	0	0	20,000,000	20,000,000	40,000,000
基金残額		65,250,000	130,630,500	196,011,130	241,659,672	221,839,923	221,839,923

補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	利用者へのアンケート調査を実施したところ、以前と比較して「良くなった」と回答された方が40人中34人となり、改修の成果が見られた。また、ブースを交換により「広くなった」との声が利用者から寄せられた。 工事看板と市ホームページへ交付金事業により改修したことを記載をし、地域住民への周知を行った。
事業の改善措置及び今後の対応	特になし
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無